

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月8日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 高橋 勇一	
環境-24	実施事業	笹田リサイクルセンター管理運営事業 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	環境センター
			関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。
効果	ごみの発生抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

・廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業を実施するとともに、笹田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
	事業の対象者数	176,466人	176,308人	事業の対象者数	176,436人		
運営資源状況	決算値(千円)	149,985	156,879	当初予算(千円)	163,505		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	60,366	42,143	その他	47,218		
	一般財源	89,619	114,736	一般財源	116,287		
	人員配置数	3.8	3.8	人員配置数	3.8		
事業経費運営	人件費(千円)	28,931	29,497	人件費(千円)	32,763		
	総事業費(千円)	178,916	186,376	総事業費(千円)	196,268		
	市民1人当りの経費(円)	1,014	1,057	市民1人当りの経費(円)	1,112		
	対象者1人当りの経費(円)	1,014	1,057	対象者1人当りの経費(円)	1,112		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済 協働実施済の場合のパートナー NPO法人 鎌倉リサイクル推進会議

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	廃棄物の減量化・資源化に関する啓発を行うとともに、施設の適切な維持管理を今後も実施していかなくてはならないため。			

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・一般廃棄物処理の性格から、適正かつ安定的な処理が不可欠である。そのため、今後も施設の適切な維持管理、効率的な運転に努めていく。 ・また、NPO法人鎌倉リサイクル推進会議と協働して、各種展示、イベント及び教室等を開催し、リサイクル意識の向上に努めていく。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	・施設の適正な維持管理と効率的な施設運営を継続し、電気使用量の目標値を達成する。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	・電気使用量について、市、委託作業員及びリサイクル推進会議が一体となって削減に努めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・平成9年に供用開始された施設であり、20年以上経過していることから、機器の更新等を含め、適切な維持管理を実施して、長寿命化につなげていく。 ・展示、学習会及び教室等に5千人以上の参加者を達成する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	電気使用量の削減	単位	kwh	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
施設を管理する上で、電気の使用は不可欠であるが、節電等の実施は考える必要はある。(街路灯は除く)	目標値	380,000.0	380,000.0	375,000.0	370,000.0	365,000.0	360,000.0
	実績値	319,910.0	326,485.0	335,013.0	342,673.0	352,018.0	
	達成率	118.8%	116.4%	111.9%	108.0%	103.7%	

指標の内容	展示、学習会及び教室等の参加人数	単位	人	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
3Rの推進するためには、行動する市民を育成することが重要である。	目標値	-	-	5,000	5,100	5,200	5,300.0
	実績値	-	-	5,206	4,742	4,827	
	達成率	-	-	104.1%	93.0%	92.8%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	施設を管理する上で、電気の使用は不可欠であるが、市職員及び委託作業員による節電への積極的な努力は必要であり、また各機器の運転操作等の見直しにより、更なる削減が見込まれるよう、周知・実施を行っていきます。							
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--